火山防災情報ワークショップ in 桜島

わが国では、平均して毎年5火山で噴火が発生し、ほぼ同数の他の火山で、火山性地震の増加などの異常現象が観測されている。火山噴火はわが国の逃れ得ない宿命であり、惹起される災害や過度の社会的不安・混乱を防止する上で、火山情報など火山に関する防災情報の役割は極めて大きい。火山観測体制の整備および火山噴火予知研究の進展によって、2000年の有珠山噴火のように、噴火に先立ち、迅速で的確な火山情報発表がなされる事例も増えている。

しかし、現在も多量の火山ガスを放出している三宅島のように、現在の火山学の知識では活動の推移に対して的確な予測は困難な状態である。また、雲仙普賢岳の例のように、事前に危険性を指摘する情報がでていても、その内容が理解されなければ甚大な被害を生じる。更に、桜島のように数十年にわたり頻繁に噴火を繰り返す火山から、富士山や岩手山のように長い休止期間の後に異常現象が発現した火山まで火山活動の様相は多種多様であって、火山情報の受け手側の火山活動についての認識や心構えは火山によって大きな差がある。特に、富士山など、休止期間が長く周辺の都市化が進んだ火山で、火山情報をどのように伝えるか大きな問題である。

近年、火山噴火予知連絡会や気象庁では、火山活動のレベル化、活火山の見直し、火山監視・情報センターの設置など、わかりやすく、迅速で、的確な火山情報を出すための取り組みがなされている。本ワークショップでは、情報発表機関、防災行政機関の関係者、研究者が集まり、近年の火山活動に関連して発表された火山情報や地元住民などの受け取り方などの分析を通して、火山防災情報のあり方と火山噴火予知・火山防災に関連する研究が取り組むべき課題について討議する。

日時：平成15年3月11日(火)09:00～17:00
場所：国民宿舎「レインボー桜島」（桜島フェリーターミナルから徒歩10分）
　　鹿児島県桜島町横山（電話：099-293-2323）

京都大学防災研究所21世紀COEプログラム
「火山活動の評価手法の開発と火山防災情報に関する研究」

研究代表者：石原和弘（京都大学防災研究所附属火山活動研究センター）
ワークショップ担当者：井口正人
電話：099-293-2058　ファックス：099-293-4024
e-mail: iguchi@svo.dpri.kyoto-u.ac.jp

火山防災情報ワークショップ in 桜島

京都大学防災研究所 21 世紀 COE プログラム「災害学理の究明と防災学の構築」

日時：平成 15 年 3 月 11 日　09:00～17:30

場所：国民宿舎レインボー桜島（鹿児島県鹿児島郡桜島町横山）

09:00-09:05　開会の挨拶　石原和弘（京都大学）

■　火山防災情報のうごき　座長　浜口博之

09:05-09:30　火山活動度に基づく活火山の分類（ランク分け）について
宇平幸一（気象庁火山課）

■　最近の火山噴火におけるケーススタディ―北海道地区―　座長　浜口博之

09:30-09:55　2000 年有珠山噴火における火山情報と地元対応
宮村淳一（札幌管区気象台）

09:55-10:20　2000 年有珠山噴火災害とその対応―行政の立場から―
田鍋敏也（壮瞥町）

10:20-10:45　有珠山防災情報の核心・・コミュニケーションによるコミュニティ支援
岡田　弘（北海道大学）

（休憩）

■　最近の火山噴火におけるケーススタディ―東北地区―　座長　岡田　弘

11:10-11:35　1998 年以降の岩手山火山異常における火山情報と地元対応
吉川一光（仙台管区気象台）

11:35-12:00　岩手山の火山活動と防災対応
浜口博之(東北大学)

（昼食）

■　最近の火山噴火におけるケーススタディ―関東・伊豆・甲信越・中部地区―　座長　清水洋

13:00-13:25　三宅島における火山情報と火山監視
碓井勇二（気象庁火山課）

13:25-13:50　2000 年三宅島噴火における東京都の対応
笹井洋一・宮崎　務（東京都）

■　最近の火山噴火におけるケーススタディ―九州地区―　座長　渡辺秀文

13:50-14:15　　2002 年諏訪之瀬島の火山活動と火山情報

平松秀行（福岡管区気象台）

14:15-14:40　　桜島における情報発表と火山活動度レベル判定－2001 年7月以降の事例報告－

大工　豊（鹿児島地方気象台）

14:40-15:05　　桜島大規模噴火発生時の火山情報

石原和弘（京都大学）

（休憩）

■　火山防災情報の今後のあり方　座長　石原和弘

15:30-15:55　　火山活動度のレベル化－現状と今後－

山里　平（気象庁火山課）

15:55-16:20　　火山情報の高度化に向けて－ユーザの視点による火山情報の問題点－

林　豊（気象庁火山課）・山里　平（同）

新井伸夫（日本気象協会）

16:20-16:45　　行政からの要望

生駒正明(鹿児島県消防防災課)

16:45-17:30　　全体討論

※　各講演にはそれぞれ 5 分の質疑・応答時間が含まれております.